

一者応札・応募事案フォローアップ票(令和5年度分)

法人名	独立行政法人国際交流基金	
入札及び契約方式	一般競争(総合評価)	
契約の件名及び数量	令和5～6年度日本語能力試験リサーチテスト実施及び電算処理業務委託契約	
契約締結日	令和5年5月22日	
契約の相手方の商号又は名称等	共同印刷株式会社	
入札経緯及び結果	令和5年1月20日 入札公告 令和5年3月13日 入札説明会 令和5年3月20日 仕様書に係る質問受付締切 令和5年4月10日 業務提案書提出締切 令和5年4月26日 入札実施	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	特殊な業務であるため、過去に落札した業者が有利にならないように新規業者にも理解しやすい仕様書内容とするため、記述の見直しを行いつつ、現行業務の内容を反映させた。
②業務等準備期間の十分な確保	○	入札実施から業務開始までの期間を、前回より1ヵ月長く確保する入札スケジュールとした。
③公告期間の見直し	○	入札公告から業務提案書提出締切までの期間を、前回の51日間から80日間に延長した。
④公告周知方法の改善	○	ホームページのほか政府調達案件として官報へも掲載し、候補となりそうな企業へ公告の連絡を行った。
⑤電子入札システムの導入	×	
⑥業者等からの聴き取り	○	事前に入札説明会を実施し、質問を受け付けた。また、入札実施後も、入札説明を受けたものの入札には参加しなかった業者に理由等をヒアリングした。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
<ul style="list-style-type: none"> ・業務が複雑かつ大型であるため、新規事業者が参入しやすいよう、入札実施後の業務準備期間を可能な限り長く確保する。 ・業務の特殊性により、対応可能な企業が少ない状況はあるが、声かけの範囲を広げられるよう、日頃より試験関連部門を有する企業についての情報収集を行う。 		
契約監視委員会のコメント		
基金の取組は妥当であると考える。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
渡邊一弘委員、宮本和之委員、山本裕子委員、井澤めぐみ委員		